



明確な目標に向かって努力をしよう！

校長 浅見 正史

明けましておめでとうございます。



令和6年（西暦2024年）の年頭に当たり、天に昇る龍のように勢いのある年になりますように、皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。

さて、新年となり、各ご家庭でもお子様とともに新たな目標や抱負を語られたことと思います。「一年の計は元旦にあり」、物事は最初が肝心であるということで、生徒の皆さんは今年の2学期までを振り返り、3学期に向けて新たな目標を決めたことと思います。

人は人生の若い時期に、また折々に「夢や希望を掲げ、明確な目標をもち、努力することが大切である！」と考えます。明確な目標が定まれば、そのためにどうしたらよいかという道筋がおのずと分かってきます。また、「為せば成る」という諺があります。「その気になってやれば何でもできる」ということです。そこで、「為せば成る」という気持ちで、それぞれの明確な目標に向かって、決してくじけることのない3学期にしてください。

3年生の皆さんは、進路選択の最終局面を迎えます。1月22日（月）から多くの私立高校等で入学試験が始まり、県公立高校においては2月初旬には願書提出です。今日まで、三者面談後の保護者との話し合いを繰り返しながら、最終的には、本人が自分自身で結論を出して、進路選択に臨んでいると思います。是非、「行きたい学校」へ進学できるように受検（験）に臨んでください。健闘を祈ります。生徒の皆さんへは繰り返しになりますが、それぞれの夢や希望を明確な目標にかえて、努力する一年にしてほしいと願っています。頑張りましょう。

また、保護者、地域の皆様には、先行き不透明で予測困難な時代においても、子どもたち一人ひとりが強く生き抜いていける力を身に付けてほしいと願っています。老子の言葉に「授人以魚 不如授人以漁」があります。「人に授けるに魚を以ってするは、人に授けるに漁を以ってするに如（し）かず」です。「もらった魚は食べてしまえばそれで終わりですが、魚の漁の仕方を教えてもらえば、いつでも自分で魚を捕って食べることができる。」という意味です。この言葉は、学校教育目標「輝く命 生きる力」の具現化に相通じるものと捉え、これからも保護者、地域と連携協力を図り、子どもたちへの教育活動に全力で取り組んでまいります。

本年もご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。